

# 県の創業 セミナー 移住、起業の経験紹介



## 龍神村の金丸さん

田辺市龍神村でカフェ「CONSERVA（コンセルヴァ）」を経営し、ジャムなどの製造販売も手掛けている金丸知弘さんが、このほど同市新庄町のビッグ・ユニーであった県の創業セミナーにパネリストとして参加した。

このセミナーは、県内で事業展開を考えている人などを対象に県が支援しようとする。44人が出席して午前中に講演会があり、午後からは「地域資源を活用した事業展開について」と題したパネ

△  
パネリストとして意見を述べる金丸知弘さん（右）＝田辺市新庄町で



南高梅の育成に情熱を

「若しあの時、貞楠さんに断られていたら、今の南高梅の隆盛がなかったか、産地形成の基盤がずっと遅れていたことであろう」と感謝する。

苗名称登録された。著書の中で、梅作りの基本として、まず「愛情第一主義」を挙げている。「畑に立っている梅一本一本は私共を助けてくれる家内であるので、雪の夜や嵐の夜は、寝床の中にも、梅の木を思えば勿体なくて、夜があくれば直ぐ見舞にかつけて、雪を払いのけ倒

ルディスプレイッションがあった。

司会は、わかやま産業振興財団の永井達郎経営支援部長、パネリストは金丸さんの他に、新宮市でアロマの研究開発と製造販売、リラクゼーションサロンを営んでいる「エムアフアブリー」の竹原真奈美さん、日本政策金融公庫田辺支店の篠田直喜支店長。

東京出身の金丸さんは、龍神村近辺では通年かんきつ類が手に入り、原発がなく水や空気がきれいであることから、家族で龍神村への移住を決めたことを話した。

現在、インターネットではなくて地域イベントでの販売や電話で注文を受けていることや、栽培しても多くの果実が廃棄されている現状を目的に、シャム作りをし

ていることも紹介した。

司会の永井さんは「どんな人に何を売るかについて特色を出している。市場調査や販売の戦略ができていて素晴らしい」と称賛。競争力のある地域資源に独自性を加えて、いかに競争力をつけるかが大事だと話した。

最後に金丸さんは、地方に移住して創業したい人は、県が補助金などで支援しており、田辺市では経営塾も開催しているのを利用をと呼び掛けた。

## 定数の12陣営出席

### 印南町議選の説明会

任期満了に伴う印南町議会議員選挙（定数12）の立候補予定者説明会が27日、同町印南の町役場であった。現職10人と新顔2人の12陣営が出席

## 障害児者と交流

8月6日、サマースクール

日高川町の川辺西小学校育館で8月6日午前10時、午後2時半、第37回「日高地障児者とのつながりを広めサマースクール」（実行委会主催）がある。7月3日

した。

現在の議員数は定数より人少ない11人。説明会に出したの、出馬の意向を示している10人の現職と、今期引退を表明している現職の上誠八氏の島田地区から古真氏、印南原地区の夏見公氏の新顔2人の陣営。

他にも新顔出馬の動きがある模様だが、選挙戦になるかは不透明。

出席した陣営の立候補予定者は次の皆さん。

【現職】藤本良昭（古井）

